

平成28年度 保育園4園総括事業報告書

《総括》

平成28年度も保育を取り巻く環境が大きく変動した年度であったが、各園共に情報をいち早く収集し、対応が遅れないよう取り組んでいった。

また、待機児童問題については引き続き積極的に取り組み、行政と連携し最終的に4園で年間5,254名(定員の110%)の弾力的な受け入れを行い、安定した一年であった。

保育園4園では、保護者の多様なニーズに応え、保護者から選ばれる保育園となるために、施設整備を充実させ、地域や家庭との連携のもと、子ども一人ひとりを大切にし、安全で健康的な楽しい保育園生活を送れるよう充実した保育に努めた。

安全面は、日頃より安全・防災対策に取り組んでおり、避難消火訓練や職員への事故対策検討会を実施し、園児の事故防止・防災・防犯意識の強化に努めた。その結果大きな事故や怪我もなく無事に終えることができた。

人材確保については、保育士の確保が非常に困難な状況にある中、県内外の学校訪問や実習生を中心に一定の学校から継続して受験者が出てくるなど、教職員との情報交換や先輩職員を通して学生に継続的にアピールしていくことの重要性を改めて認識し、各園共に積極的な働きかけを行ったが、昨年度は離職者が出たため、欠員をすべて補充することが出来なかった。これらの結果、平成29年度に向けて保育士13名の採用に至った。

なお、養護と教育を一体化した、質の高い保育を目指すために、音楽・絵画等の教育を取り入れ、職員一人ひとりが保育士としての専門性の向上に努めていけるよう取り組んできた。